

令和2年1月15日 発行

こうじえん

普及センターだより

耕耳苑

宮古農業改良普及センター

TEL：0193-64-2220

FAX：0193-64-5631

岩泉普及サブセンター

TEL：0194-22-3115

FAX：0194-22-2806

いわてアグリベンチャーネット

<https://i-agri.net>

グローバルGAP取得

食品の安全確保などを目的として、作業工程の一つ一つを点検し、農業生産に伴う危険を出来るだけ少なくすることにより事故の発生を防ぎ、適切な農業生産を実践する『GAP（農業生産工程管理）』の取組を推進しています。

今年度は、ブロッコリー専門部の若手有志9名が、グローバルGAPの認証取得に向けて取り組みました。

GAPの考え方の理解から始まり、生産から出荷におけるリスクの洗い出しや評価、対策を検討し、農場の点検や改善を行い10月に外部審査を受けました。審査後の是正報告を11月に終え、認証取得となりました。

なお、ブロッコリーでのグローバルGAPの団体認証取得は、国内でも数例となっています。

今後も農場の適正な管理を継続し、安全・安心な農産物の生産に取り組んでいく意気込みです。



【担当：佐々木（満）】

熊谷宗矩さん(田野畑村)が令和元年度いわて農林水産振興協議会会長表彰を受賞

令和元年度いわて農林水産躍進大会が、去る12月20日に、盛岡市民文化ホール（マリオス）にて開催され、田野畑村長根の酪農家の熊谷宗矩さんが、いわて農林水産振興協議会会長表彰の「意欲ある担い手賞（農業部門）」を受賞しました。

この賞は、優れた農林水産業経営を行っている生産者及び組織に贈られるもので、農業部門では組織1法人、個人6名の方が受賞しました。熊谷さんは、山地酪農による生産寿命の長い酪農経営の実践や研修生受入れによる酪農理解醸成活動等が評価され、受賞に結びつきました。

当日、熊谷さんは受賞者を代表して経営事例発表の講演を行い、約800名の出席者も山地酪農の取組に興味を持ち、聞き入っている様子でした。今後の熊谷宗矩さんの更なるご活躍を期待しています！

【担当：荒谷】



昨年の稲作を振り返る

1 育苗期

管内の播種盛期は4月15日と平年並みでした。苗生育は、4月の前半が低温で推移したため、浸種時の温度が足りず一部で発芽不良や出芽のばらつきが見られましたが、播種後は好天が続いたため、概ね平年並みの苗質となりました。

2 移植期～出穂期

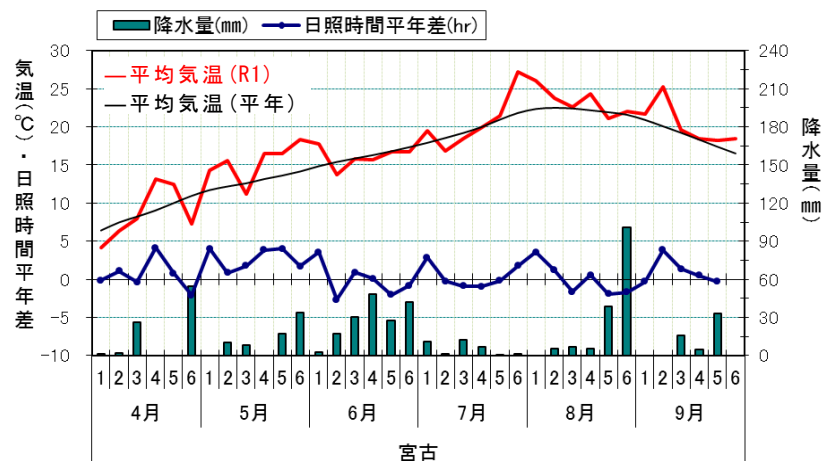
管内の移植盛期は5月19日で平年並みでした。移植後は6月第1半旬まで高温だったため、活着が促進され、分けつも確保されました(6/25調査)。しかし、6月第2半旬以降の日照不足と7月第2半旬以降の低温により、草丈は平年より低く、茎数は平年並みとなり、幼穂形成期、減数分裂期は平年よりやや遅く到達しました(7/10調査)。その後、7月第6半旬以降は高温で推移したため、出穂期は平年並み～やや早く到達し、管内全体の出穂盛期は8月6日となりました。

3 登熟期～収穫期

出穂期以降は平年より高温で推移したため、登熟が急激に進みました。刈取り時期は、管内全体では9月30日と平年より2日早まりました。

収量は、7月の低温で一穂粒数が少なくなったものの、穂数は平年並み、登熟歩合は平年より高くなったことから、概ね平年並み～やや多くなりました。

品質は平年より良く、食味もタンパク含有率が低く良好でした。管内の一等米比率は、「あきたこまち」が94.1%、「ひとめぼれ」が91.7%、「銀河のしずく」が97.3%でした。主な落等要因は「ひとめぼれ」では青未熟粒、「あきたこまち」ではカメムシによる斑点米の発生でした。



宮古産「銀河のしずく」が県内3位に入賞！

県オリジナル水稲品種「銀河のしずく」の品質・食味を競う第3回「銀河のしずく」頂上コンテストの表彰式が、県農業研究センター（北上市）において12月23日に行われました。今年度は、県内から56点が出品され、管内では、伊藤清さん（宮古市）と伊藤壽雄さん（宮古市）が上位10点に入賞しました。この中で、伊藤壽雄さんは第3位に入賞し、本人からは「肥料を控えめにするなど美味しい米づくりを心掛けている。来年はさらに上位を目指していきたい」とコメントがありました。

来年度は「銀河のしずく」の栽培が拡大する見込み(24名・21ha)なので、美味しい「銀河のしずく」生産に弾みがつくよう支援していきます。

【担当：佐藤（翠）】



ワンストップ就農相談会開催中

身近に農業を職業として始めたい人はいませんか？

宮古地方農業振興協議会では、農業協同組合・市町村・普及センターが一同に会した「ワンストップ就農相談会」を毎月第3水曜日に実施しています。

就農に向けた技術習得や資金計画など、お気軽にご相談ください！



【開催日時】 毎月第3水曜日 13:30~15:00

※ 相談を希望される方は、相談日7日前までに下記申込先までご連絡ください。

【会場】 会場は相談者の居住地区に合わせて、下記の中から設定します。
宮古地区合同庁舎、宮古市役所、山田町役場、岩泉町役場
田野畑村役場

【申込・問い合わせ先】

宮古地方農業振興協議会 担い手部会事務局（宮古農業改良普及センター内）

電話：0193-64-2220 FAX：0193-64-5631

E-mail：CE0024@pref.iwate.jp

※ 就農相談は各市町村でも受け付けております

【担当：久保田】

秋冬期の施設野菜における農薬適正使用について

秋冬期に栽培される施設栽培葉菜類において、農薬残留基準の超過事案が発生しておりますので、下記事項に留意して農薬適正使用に努めましょう。

- ・使用の際は、**農薬のラベルを必ず確認**。農薬使用後は**使用記録を残し家族で共有**。
- ・農薬散布後は、**散布機具をしっかりと洗浄**。☆施設栽培葉菜類では特に注意！☆
- ・農薬を使用する際は、**マスク、合羽、手袋等で身を守る**。
- ・農薬は**鍵のかかる保管庫に保管**するなど、適切に管理。

注意:被覆資材にかかって固着した薬剤が、被覆資材に発生した結露等に溶け出し、作物体に付着する恐れがあります。散布の際はこの点にも注意してください。

【担当：佐々木（満）】